

# 【参考】事例：気象情報にもとづく道路状況分析及びルート最適化

気象情報にもとづく道路状況のリアルタイム分析サービスについて、各社開発を推進中。  
現在は実証実験段階

	主体	サービス名	実施時期	概要
道路状況分析 リアルタイム分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社 ウェザーニューズ</li> <li>トヨタ自動車株式会社</li> </ul>	ドライバー向け安全運転支援サービス (実証実験)	2021年	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路凍結をリアルタイムに分析、Webサイトに公開</li> <li>トヨタのコネクティッドサービスを通じて収集された走行データとウェザーニューズが持つ気象データ/ウェザーニューズアプリのユーザーコメントや写真を活用</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社Spectee</li> <li>一般財団法人 日本気象協会</li> <li>株式会社トランストロン</li> </ul>	道路管理支援技術 (実証実験)	2021年	<ul style="list-style-type: none"> <li>2021年2~6月に路面状態の判定を行う実証実験を実施</li> <li>トランストロンのデジタコが取得する路面の画像データを、日本気象協会の気象データとともにスペクティのAIプラットフォーム「SIGNAL」で解析</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般社団法人ヤマトグループ総合研究所</li> <li>山口大学</li> <li>株式会社セネコム</li> <li>ヤマト運輸株式会社</li> </ul>	車載モニタリング及び収集データの利活用 (共同研究)	2020年	<ul style="list-style-type: none"> <li>車載機による収集データ活用システムに関する共同研究を開始</li> <li>ヤマト運輸の集配車両に搭載した計測機器で、気象・大気環境、路面、災害状況等をリアルタイムで収集</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定非営利活動法人 青森ITSクラブ</li> </ul>	路面状況と積雪量の把握 (実証実験)	2019年 2020年	<ul style="list-style-type: none"> <li>凹凸やわだちの深さ、路肩の積雪を算出('19年)、除雪の必要性を判定('20)</li> <li>車のドライブレコーダー等から取得した路面画像を解析(2019年度)</li> <li>ドライブレコーダーの画像を基に除雪の必要性を90%の精度で判定(2020年度)</li> </ul>
ルート最適化	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社 DATAFLUCT</li> </ul>	配送データと気象・交通データの分析によるルート最適化サービス	2020年	<ul style="list-style-type: none"> <li>最適なルート予測するサービスを提供</li> <li>GPSから収集した配送実績にもとづき、空きトラック台数や荷物量、配達先等の配送条件データと気象/交通情報などの外部リアルタイムデータを総合的に分析</li> </ul>